



国家試験対策講座

## 城北病院では、未来の医療者を応援・サポートしています

石川勤労者医療協会では、後継者育成対策を目的に看護学生担当として、看護師2名 事務1名を配置し、将来一緒に働けることを目指して、地域の皆さんや職員の協力を得ながら活動をしています。

後継者育成の対象者は、保育園に通う子供から小・中学生、高校生、そして看護大学や専門学校に通う学生です。

コロナ渦が続くなかでの取り組みの一部を紹介します。

これまで対面で続けていた、中学生や高校生への看護体験はオンラインで開催し、医療や看護活動に対するクイズや感染対策に必要なガウンテクニックを一緒に行い、看護学校に通う職員や研修期間中の看護師への質問コーナーを設けました。看護師を目指した動機ややりがいはなにか?などの質問から、希望の休みはもらえるのか、受験にはどのような勉強をしたらよいかなど具体的な質問が飛び交いました。



医療体験オンライン



高校生インターンシップ

また、年末には高校3年生を対象に、受験前のオンライン模擬面接会を行い、9校31名が緊張しながら参加し、本番前の準備に活用してもらいました。

看護大学や専門学校生に対しては、病院説明会をはじめ、心電図セミナーや嚥下機能・食支援などの専門的な学習を、他の医療職を目指す学生や多職種職員と共に学べる企画を継続しています。

看護師国家試験については、2022年は5回シリーズで企画し、研修医の協力のもと、母性や内分泌など学生が苦手としている分野の講義や、終盤には専門予備校の講師に講義を依頼し、多くの学生が参加しました。

病院の理念や看護活動に共感し、卒業後に一緒に働く意思のある学生には、奨学金貸付制度もあります。

上記の企画に加え、過疎地域に出向き過疎医療の実態を学ぶフィールドワークへの参加や、奨学生同士で学び交

流し互いの医療者像を語り合う機会を提供しています。

個別の病院説明会やインターンシップ、奨学金貸付制度などの説明は随時行っています。詳細は城北病院のホームページをご覧ください。

### 私たちがめざすもの

#### 医療福祉宣言

城北病院 城北診療所

私たちは、ヘルスプロモーションホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3  
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231  
http://johoku-hosp.com  
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

# JO-HOKU No.66

2023.1.30 winter

## コロナ感染増加で病棟閉鎖を経験 病院介護施設がひっ迫の危機

城北病院 院長  
大野 健次



あけましておめでとうございます。昨年もコロナに振り回された1年でした。当院でも複数の病棟クラスターが発生し期間限定ではありますが病棟閉鎖に追い込まれるという城北病院の歴史始まって以来の経験をしました。2022年12月28日415人 12月29日は420人と2日連続でコロナの死者数は過去最高となっています。この事は病院介護施設がかなりひっ迫した状態であることを示します。政府は経済活動を重視し行動制限は行わないとしています、医療介護に従事している職員にしわ寄せがきているように思えてなりません。報道の仕方に問題があるように思いますが、第8波で世間一般と医療介護従事者の間でコロナへの考え方が乖離したように思えてなりません。

医療や介護現場の自主的な頑張りや、なんとか均衡を保っていますが長くは続きません、いずれ限界がくるものと思われ。診療報酬が低いために、十分な人員が現場に充てられずに困難を極めています。軍事費を大幅に増やすのではなく、医療福祉の立て直しにこそ 税金は使われるべきであると考えます。NHKの調査では防衛費の増額について、半数を超える55%が賛成をしています。(2022年10月) これは ロシア 北朝鮮 中国に対する国民の脅威の現れであると思いますが、政府のプロパガンダ(思想誘導)によるものが大きいと考えます。

精神科医でエッセイストの中井久夫氏は「戦争と平和」という著書の中で、こう述べています。「安全保障感」希求は平和維持のほうを選ぶと思われるであろうか、そうとは限らない。まさに「安全の脅威」こそ 戦争準備を強力に訴えるスローガンである。まことに「安全の脅威」ほど 平和を掘り崩すキャンペーンに使われやすいものはない。戦争が起こる要因には意外にも人々が安全を求める心 安全保障感があると説いています。

現在は軍事費を増やして、戦争への道を 突き進みこの事を肯定的にとらえる風潮が出来上がってきている事に脅威を感じます。

2022年はあまり良い事もなく1年が過ぎましたが、2023年も心配な事が山積みです。しかしそうも言っていないので、職員一同「無差別平等の医療介護」に立ち戻り頑張っていきたいと考えています。今年もよろしくお願いたします。

### 緩和ケア病棟の紹介

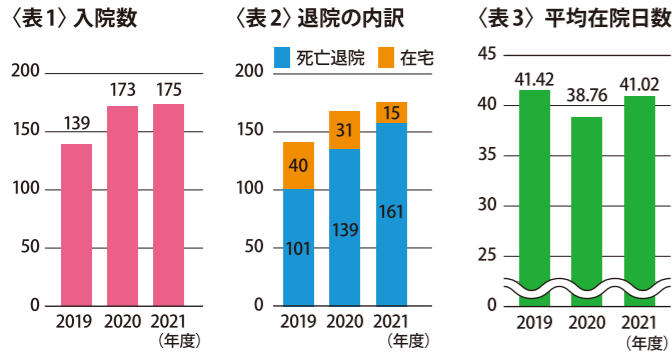
## 2023年合言葉

# みんなで力を合わせて飛躍の年にしよう

2019年6月から城北病院緩和ケア病棟が開設され今年で4年目を迎えることができました。

これまでがん拠点病院、地域の病院、施設、在宅からの緩和ケア病棟へご紹介を頂き絶え間ない連携が継続しているからだとこの場をおかりして感謝申し上げます。

緩和ケア病棟開設2019～2021年度の受け入れ患者数、



退院数、平均在院日数をグラフにしてみました。退院数はほぼ緩和ケア病棟でのお看取りとなった方と在宅でお看取りとなった方が含まれますが中にはレスパイト利用されていた方も含まれます。在院日数が40日と長めですが、なかには数時間、数日という方もおられます。

開設当初は右も左も分からずとにかくスタッフ全員で勉強



今年度からは病棟医が3名に増えたことにより、入院の相談などに対して今までよりも迅速に対応できるようになりました。また、マンパワーの問題からお断りしていた外来管理目的の緩和ケア患者さんのご紹介も、お受けすることができるようになりました。金沢市という都市部に於いても、残念ながらがん難民のような患者さんをお見かけすることがしばしばあります。「がんで困ることがあれば城北病院に行けば何とか」と頼りにして頂けるような緩和ケア病棟や救急外来となるよう尽力させて頂きたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

城北病院 緩和ケア病棟師長 鹿島しのぶ

会の連続でした。事例検討や日々のケアの中から「これでいいのかな?」ともやっとする倫理的な課題はスタッフ個人の胸に留めずその都度、皆で共有してきました。



バースデーカード 誕生日の祝膳

私たちは、病院理念に添い、無差別平等の医療を追求し、患者さんの尊厳を大切に、その人らしく生きれるように支援することが使命だと考えています。

緩和ケア病棟ではコロナ禍でも一度も面会制限を行っていません。患者様、ご家族が共に安心して過ごせるように感染対策と環境に配慮し、大切なお誕生日やティータイム、お好み焼き、焼き肉大会、クリスマス会など外出、外泊も含め『いつもと同じように』支援させていただいています。患者様、ご家族の笑顔が働くスタッフにも幸せをもたらして日々感謝しています。

引き続き今後ともよろしくお願い致します。



外科 横山 隆 医師

-緩和ケアとの関り- 緩和ケアとの関りは、以前勤務した羽咋診療所で、在宅の見取りを始めた頃からです。たくさん家族に見守られながら、亡くられる患者さんを見取り、家族にいつも大変感謝されるようになりました。思ったよりも早く亡くなられ、もっと頻回に血液検査などして、病態変化を把握しておくべきだったと、医師として反省する部分があっても、主に訪問看護師や診療所の看護師のケアは、患者と家族にとって常に十分な物になっていたようです。医学的にはキュア（治す）できなくても、看護としてケアできないものはない、とよく言われます。看取りでは、医師は一步下がって、指揮に専念し、現場は看護師、家族などに任せた方がうまくいきます。緩和ケア病棟でも同じ考え方で、診療を続けています。



本人には見守りの家族の一人としての思いを大切にしながら関わらせていただいています。願いがけない笑顔を見せてくださると、私も一緒に喜んでいきます。石井

最後までその人らしく生きて大切にして下さる関わりを大切にしたいと思っています。川原

患者さんご家族、そして病棟スタッフと一緒に喜んで、時には涙も流れることもありますが、それは患者さんの人生の最期に少しでも温かい時間を届けたいという気持ちで頑張っています。西村 寧子

緩和ケア病棟の最初の目標は、患者さんやご家族の不安を軽減することです。そのために、私たちは日々勉強を続けています。これからも、患者さんやご家族の笑顔のために頑張ります。医師 斎藤 和也

食卓周りの環境も含め、食卓を楽しい空間にしたいという思いを大切にしています。栄養士 西郷 治

患者様一人一人に、今までの生活で大切にしていたことを、思い出させてあげたいと思います。出来れば、ぜひとも、お話を聞かせてください。#口

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山



腫瘍内科 佐藤 到 医師

2022年9月より城北病院の緩和ケア病棟での勤務を始めました佐藤 到と申します。腫瘍内科医として化学療法の業務を行いつつ、緩和ケア医として入院、外来の緩和ケアも担当しております。化学療法と緩和医療は異なるものかと考えるかもしらっしゃるかもしれませんが昨今の考え方ではがん治療を始めるときから緩和ケアを行ったほうが予後に良い影響を与えると言われています。当院緩和ケア病棟では化学療法中であっても入棟基準を満たせば入院可能な全国的にも珍しい病棟です。（緩和ケア病棟への入棟については化学療法中止今後実施しないことが前提の病院がほとんどです）当院の持ち味を活かして地域のがん医療に貢献できればと思いますので今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

お薬の取り除けは苦痛はありますが、少しでも苦痛を減らしたいという思いで頑張っています。薬剤師 宮川

直接関わることは、少ないですが、みなさんの笑顔に立ちたいです。石橋

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。また、患者さんご家族の思いを大切に、一人一人に合わせたケアを行っています。丸山

